

図形の感覚をつかもう

単 元	合同な図形	対象学年	5 年
ね ら い	合同な図形について興味と関心をもつ。図形をかいたり，写したりすることで合同な図形の感覚を養う。		

1 準備するもの

教師：ホワイトボード，透明カバー，マグネットシート

<作成方法>

- ①透明シートをホワイトボードの大きさに合わせて切る。
- ②ホワイトボードの上部分に両面テープで透明シートを貼る。
- ③マグネットを透明シートの下とホワイトボードの裏に貼る。



【ホワイトボード作成の仕方】

2 学習のしかた

- (1) 問題場面を把握する。
前時で行った合同な四角形の作図を確認する。
- (2) 課題を設定する。
三角形の作図方法を確認した後、『合同な四角形のかき方を考えよう』と学習課題を設定する。
- (3) 個人追究する。
前時までの子どもの考えが書かれた座席表を配付し，ホワイトボードに紙をはさみ，考えを記入する。



【座席表を見て個人追究する】

- (4) ペアで考える。
ホワイトボードをもち、友達の考えを記入する。
- (5) クラスで考える。
必要に応じて、ホワイトボードを黒板に貼る。
- (6) 振り返る。



【ホワイトボードを見て振り返りをする】

3 学習上の留意点

- ・ペアやグループなどで活動できるように学級の人数を考えて作成する。

4 学習の効果

- ・ホワイトボードを使うことで、たくさんの考えを素早く記録することができる。
- ・プリントを挟んで活用できるので、他の友達のパリントなども使用できる。合同な図形の単元以外でも授業展開できる。



【ホワイトボードに友達の考えを記入する】